

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第45週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。  
4 類感染症：つつが虫病 3 例。5 類感染症：梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	結核性リンパ節炎	リンパ節腫大
			80歳代	女	肺結核	発熱、食欲不振、倦怠感
			80歳代	女	肺結核	呼吸困難
4類	つつが虫病	都城	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
		小林	50歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発熱、刺し口
5類	梅毒	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
			40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	外陰部潰瘍

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 650 人(定点当たり 18.9)で、前週比 111%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

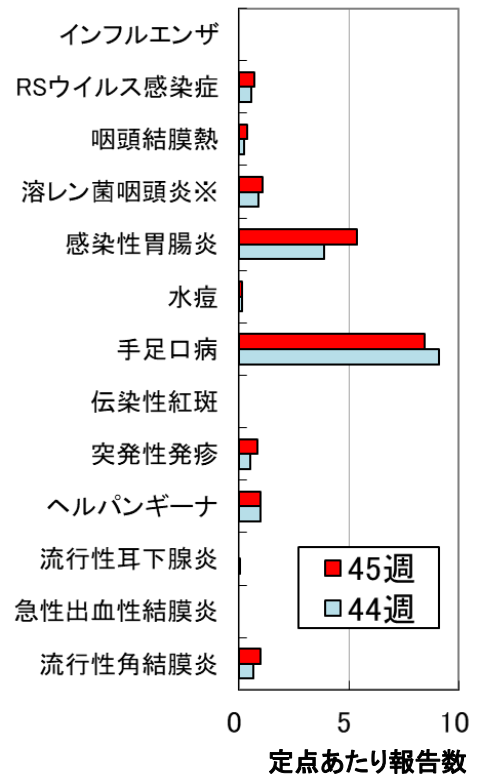
報告数は 194 人(5.4)で、前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.8)の約 0.7 倍であった。小林(13.0)、中央(11.0)、都城(8.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約半数を占めた。

##### 【手足口病】

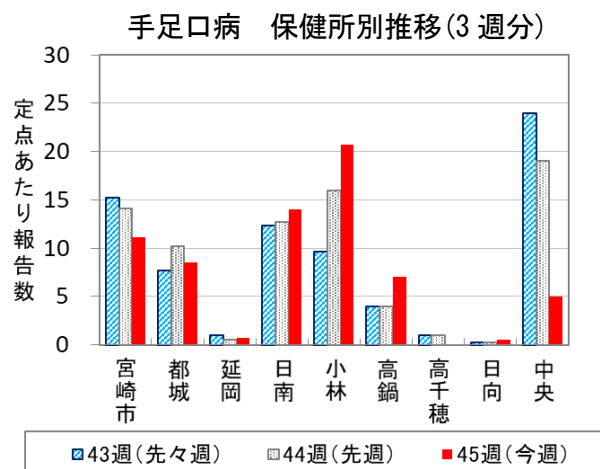
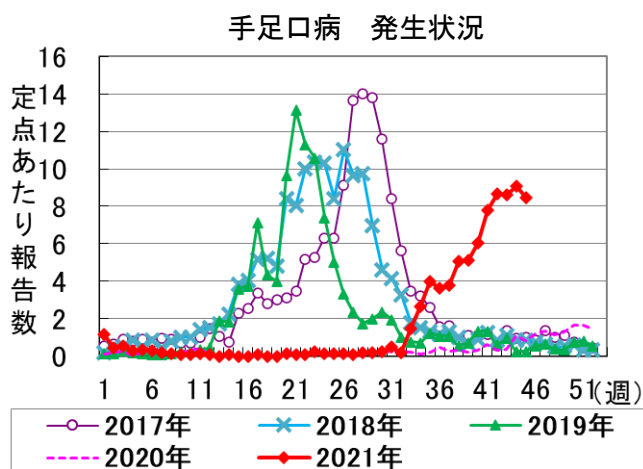
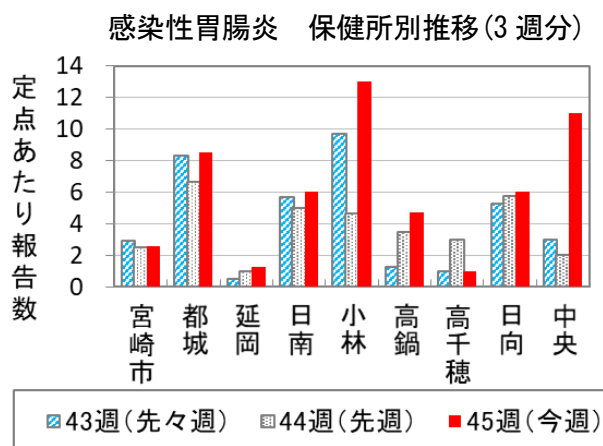
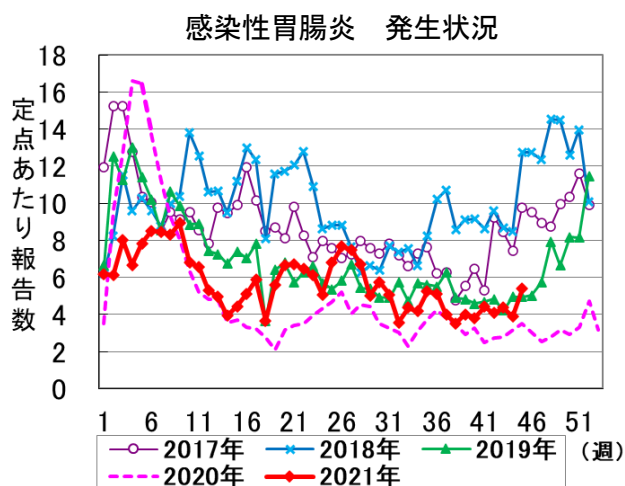
報告数は 304 人(8.4)で、前週比 93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.3)の約 6.4 倍であった。小林(20.7)、日南(14.0)、宮崎市(11.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(11.1)
都城	手足口病(8.5)
延岡	なし
日南	手足口病(14.0)
小林	手足口病(20.7)
高鍋	手足口病(7.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※  
 ・手足口病(5)

## 🇯🇵 全国 2021 年第 44 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	218 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	13 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	9 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	39 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	38 例	急性弛緩性麻痺	1 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	106 例
	播種性クリプトコックス症	6 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	19 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑であった。

感染性胃腸炎の報告数は 8,416 人(2.7)で前週比 102% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.0)の約 0.7 倍であった。熊本県(5.8)、鳥取県、福岡県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

手足口病の報告数は 4,805 人(1.5)で前週比 100% と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.98)の約 1.5 倍であった。宮崎県(9.1)、佐賀県(7.5)、熊本県(6.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2021年10月>

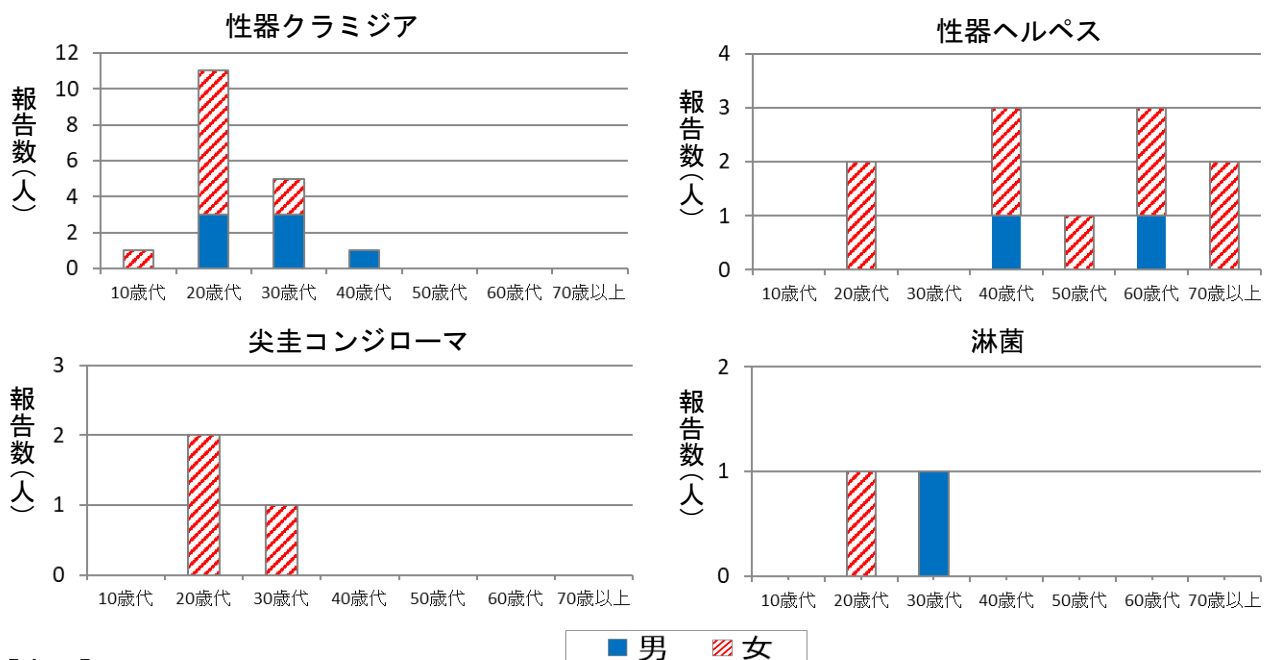
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、昨年10月(4.2)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人(1.4)で、前月の約0.9倍、昨年10月の約0.6倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。(男性7人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告11人(0.85)で、前月の約1.6倍、昨年10月の約1.4倍であった。(男性2人・女性9人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の3.0倍、昨年10月と同率であった。(女性3人)
- 淋菌感染症：報告数2人(0.15)で前月の約0.3倍、昨年10月の約0.2倍であった。(男性1人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,760人(4.9)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,559人(2.6)で前月比101%、性器ヘルペスウイルス感染症773人(0.79)で前月比105%、尖圭コンジローマ504人(0.51)で前月比111%、淋菌感染症924人(0.94)で前月比111%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比121%と増加した。また、昨年10月(1.5)の155%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年10月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,286人(2.7)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,203人(2.5)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症64人(0.13)で前月比108%、薬剤耐性緑膿菌感染症19人(0.04)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第45週(11月08日～11月14日)

疾病名	第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	21	25	5	9	3	5	2		1	
	定点当り	0.58	0.69	0.50	1.50	0.75	1.67	0.67	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	13	3	2	4		3		1	
	定点当り	0.22	0.36	0.30	0.33	1.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	38	7	3		23		1	1	3
	定点当り	0.89	1.06	0.70	0.50	0.00	7.67	0.00	0.25	0.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	140	194	26	51	5	18	39	19	1	24
	定点当り	3.89	5.39	2.60	8.50	1.25	6.00	13.00	4.75	1.00	6.00
水痘	報告数	6	5		3		1			1	
	定点当り	0.17	0.14	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	327	304	111	51	3	42	62	28		2
	定点当り	9.08	8.44	11.10	8.50	0.75	14.00	20.67	7.00	0.00	0.50
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	30	9	8	3	3		6		1
	定点当り	0.53	0.83	0.90	1.33	0.75	1.00	0.00	1.50	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	35	35	4	11	1	10	5	4		
	定点当り	0.97	0.97	0.40	1.83	0.25	3.33	1.67	1.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	4	6	5	1						
	定点当り	0.67	1.00	1.67	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～45週)

2類感染症	結核	111例(3)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例	
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	13例
	日本紅斑熱	18例	つつが虫病	22例(3)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	75例(3)
	破傷風	6例	百日咳	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5262例		

( )内は今週届出分、再掲